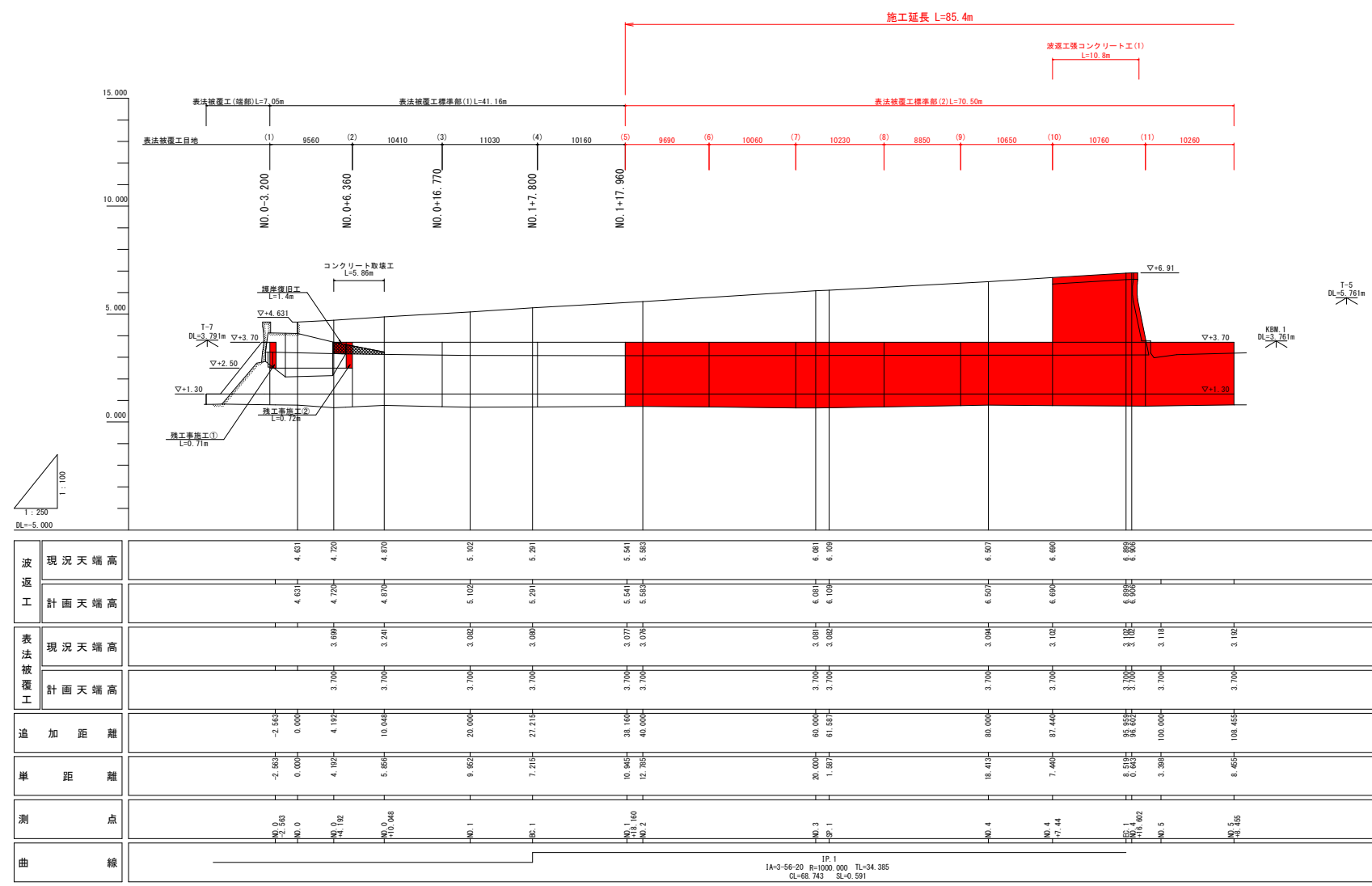




縦断面図(1) VS=1:100 HS=1:250

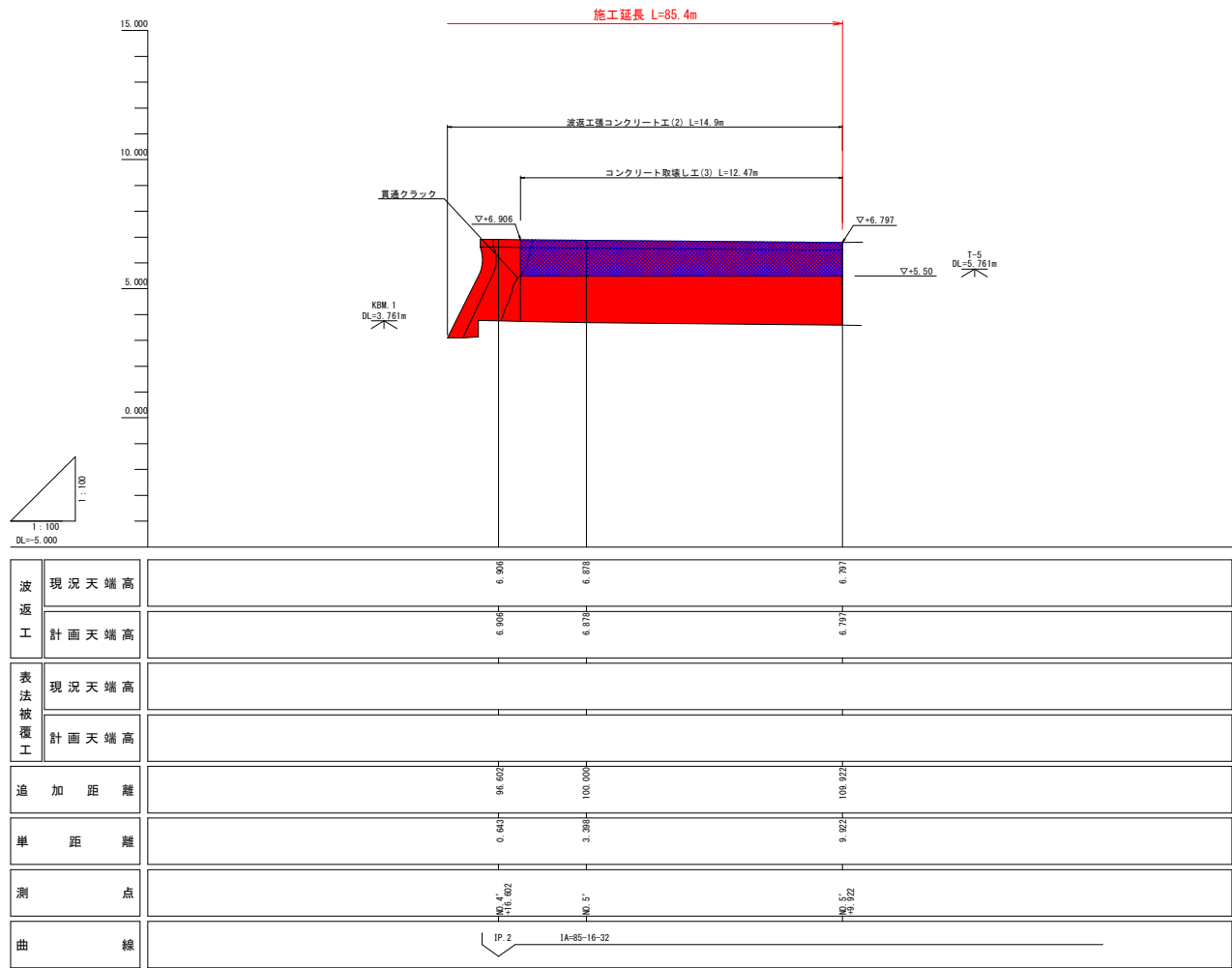


波 返 工	現 況 天 端 高																			
	計 画 天 端 高				4.631	4.720	4.870	5.102	5.291	5.541	5.593			6.081	6.109		6.507	6.690	6.896	6.906
表 法 被 覆 工	現 況 天 端 高					3.699	3.241	3.082	3.000	3.077	3.078			3.081	3.082		3.094	3.102	3.108	3.118
	計 画 天 端 高					3.700	3.700	3.700	3.700	3.700	3.700			3.700	3.700		3.700	3.700	3.700	3.700
追 加 距 離				-2.563	0.000	4.192	10.048	20.000	27.215	38.166	40.000			60.000	61.937		80.000	87.440	95.625	100.000
単 距 離				-2.563	0.000	4.192	5.856	9.952	7.215	10.945	12.795			20.000	1.597		18.413	7.440	8.643	3.398
測 点			NO.0 2.563	NO.0		NO.0 4.192	NO.0 10.048	NO.1	NO.1	NO.1 10.180	NO.2	NO.3 19.1	NO.3 39.1	NO.4 59.1	NO.4 79.1	NO.4 99.1	NO.4 119.1	NO.5 139.1	NO.5 159.1	NO.5 179.1
曲 線		IP.1 1A=3-56-20 R=1000.000 TL=34.385 CL=68.743 SL=0.591																		

当初設計図面

工 事 名	R7 徳土 徳島小松島港海岸（沖洲地区） 徳・南沖洲4 護岸修繕工事（担い手確保型）		
路線名等	徳島小松島港海岸（沖洲地区）		
工事箇所	徳島市南沖洲4丁目		
図 面 名	縦断面図(1)		
縮 尺	VS=1:100 HS=1:250	図面番号	2/11
会 社 名			
事業者名	徳島県東部県土整備局＜徳島庁舎＞		

縦断面図(2) S=1:100

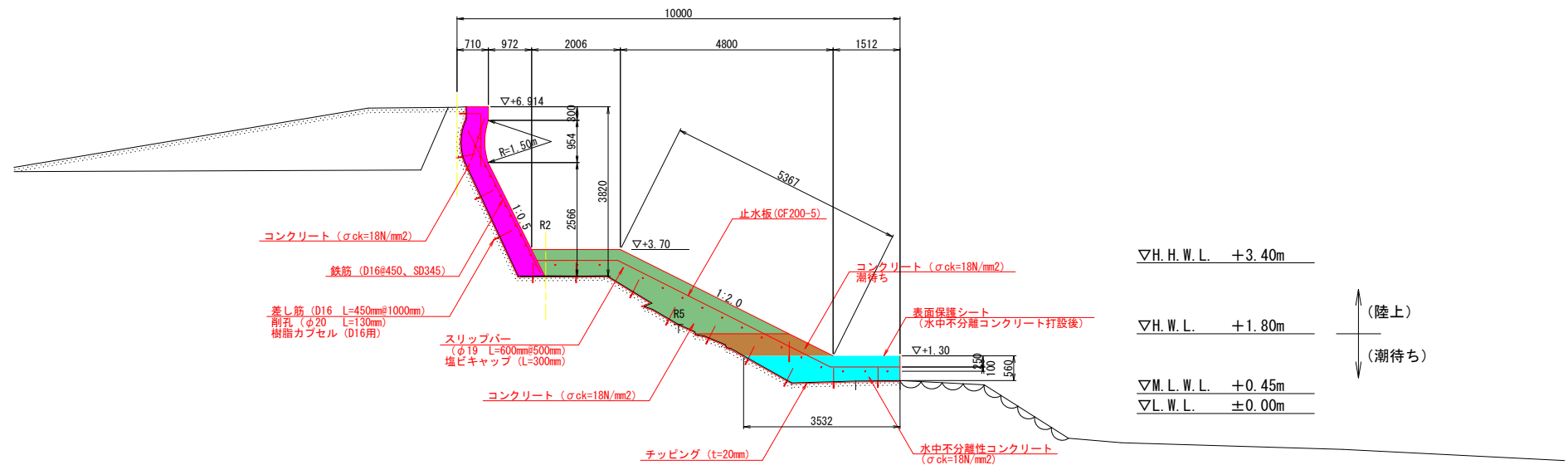


当初設計図面

工事名	R7 徳島 徳島小松島港海岸（沖洲地区） 徳・南沖洲4 護岸修繕工事（担い手確保型）		
路線名等	徳島小松島港海岸（沖洲地区）		
工事箇所	徳島市南沖洲4丁目		
図面名	縦断面図(2)		
縮尺	S=1:100	図面番号	3/11
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局＜徳島庁舎＞		

S=1:50

GH=6.906
FH=



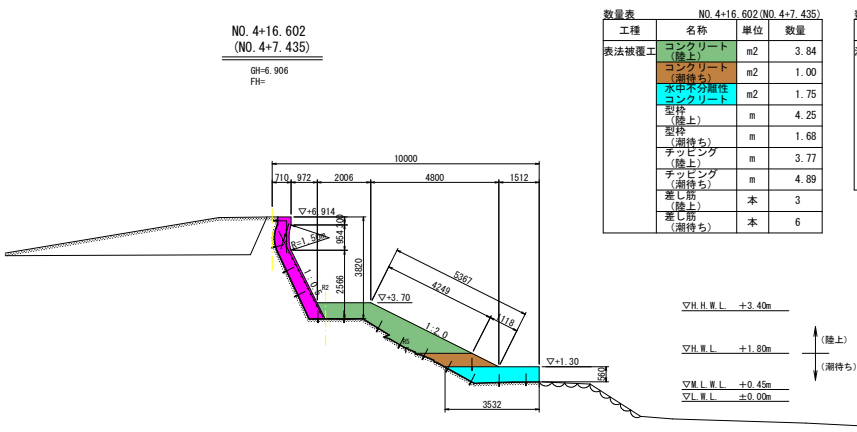
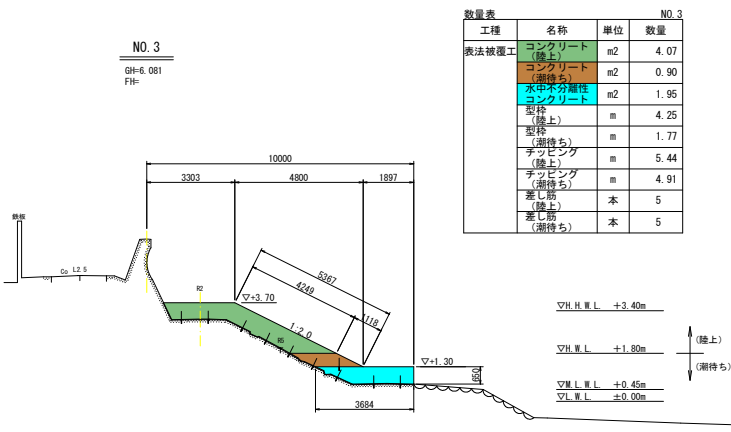
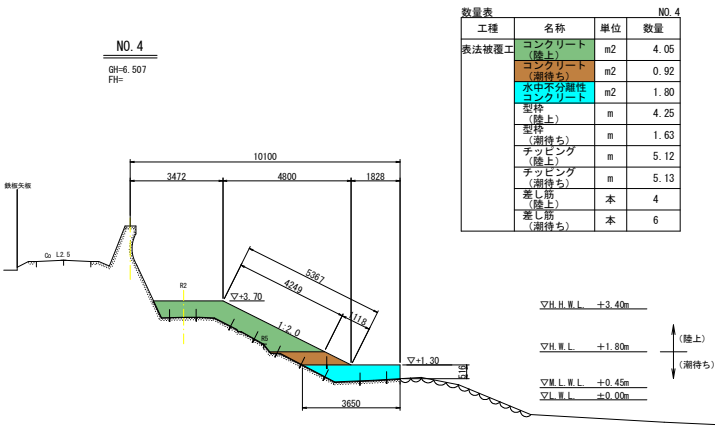
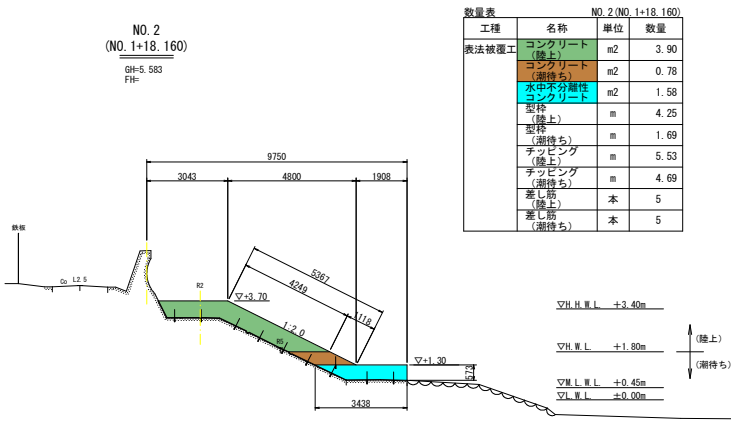
(注2) 水中不分離性コンクリートの養生中はコンクリート表面をシート等で保護する。

工 事 名	R7 徳島 徳島小松島港海岸（沖洲地区） 徳島南沖洲4 護岸修繕工事（担い手確保型）		
路線名等	徳島小松島港海岸（沖洲地区）		
工事箇所	徳島市南沖洲4丁目		
図 面 名	標準断面図		
縮 尺	S=1:50	図面番号	4/11
会 社 名			
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島庁舎>		

横断面図(1) S=1:100

(注1) 水中不分離性コンクリートの配合は、配合試験により定めるものとする。
・初期設定条件
水中期強度比0.7以上
スランプロー50cm(水中不分離性コンクリート設計施工指針(案)、土木学会、「一般の場合」の値の中央値)
水セメント比の上限60%以下(水中不分離性コンクリート設計施工指針(案)、土木学会、「無筋」・「海中」の値)

(注2) 水中不分離性コンクリートの養生中はコンクリート表面をシート等で保護する。



数量表 NO. 4+16.602 (NO. 4+7.435)			
工種	名称	単位	数量
波 返 工	コンクリート	m2	2.09
	型枠	m	3.17
	看板形型枠	m	0.97
	チップング	m	4.72
	差し筋	本	5
	鉄筋 (D16、SD345)	kg	48.98
	足場工	m	3.82

横筋 1.00m×17本 = 17.00m
縦筋 (3.56+1.19+0.99)/0.40m※ = 14.40m
1.56 (kg/m)×31.40 (m)=48.98 (kg)
※0.40mは配筋ピッチ

当初設計図面			
工 事 名	R7 徳土 徳島小松島港海岸 (沖洲地区) 徳・南沖洲4 護岸修繕工事 (担い手援保型)		
路線名等	徳島小松島港海岸 (沖洲地区)		
工事箇所	徳島市南沖洲4丁目		
図 面 名	横断面図(1)		
縮 尺	S=1:100	図面番号	5/11
会 社 名			
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島庁舎>		

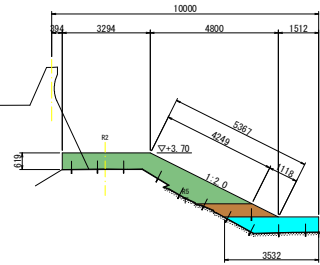
横断面図(2) S=1:100

(注1) 水中不離性コンクリートの配合は、配合試験により定めるものとする。
・初期設定条件
水中期中強度比0.7以上
スランブロー50cm(水中不離性コンクリート設計施工指針(案)、土木学会、「一般の場合」の値の中央値)
水セメント比の上限60%以下(水中不離性コンクリート設計施工指針(案)、土木学会、「無筋」・「海中」の値)

(注2) 水中不離性コンクリートの養生中はコンクリート表面をシート等で保護する。

NO. 5
(NO. 5+8.455)

GH=6.906
FH=

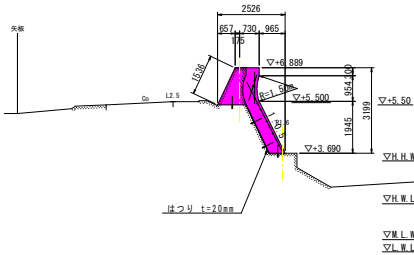


数量表 NO. 5 (NO. 5+8.455)			
工種	名称	単位	数量
表法被覆工	コンクリート (陸上)	m2	4.72
	コンクリート (潮待ち)	m2	1.00
	水中不離性コンクリート	m2	1.75
	型枠 (陸上)	m	4.88
	型枠 (潮待ち)	m	1.68
	チップング (陸上)	m	5.36
	チップング (潮待ち)	m	4.89
	差し筋 (陸上)	本	5
	差し筋 (潮待ち)	本	6

▽H.H.W.L. +3.40m
▽H.W.L. +1.80m (陸上)
▽M.L.W.L. +0.45m (潮待ち)
▽L.W.L. ±0.00m

NO. 5'
(NO. 4'+17.452')

GH=6.878
FH=

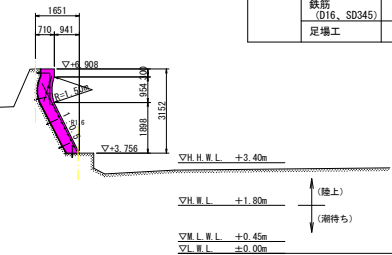


数量表 NO. 5' (NO. 4'+17.452')			
工種	名称	単位	数量
波返工	コンクリート (陸上)	m2	2.68
	型枠	m	4.01
	合板円形型枠	m	0.97
	チップング	m	2.59
	差し筋	本	4
	鉄筋 (D16, SD345)	kg	41.65
	足場工	m	3.20

横筋 1.00m×14本 = 14.00m
縦筋 (2.90+1.19+0.99)/0.40m※ = 12.70m
Σ 26.70m
1.56 (kg/m)×26.70 (m)=41.65 (kg)
※0.40mは配筋ピッチ

NO. 4' +16.602
(NO. 4' +17.452)

GH=6.906
FH=



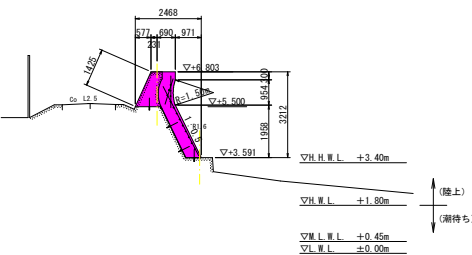
数量表 NO. 4' +16.602 (NO. 4' +17.452)			
工種	名称	単位	数量
波返工	コンクリート	m2	1.63
	型枠	m	2.42
	合板円形型枠	m	0.97
	チップング	m	3.93
	差し筋	本	5
	鉄筋 (D16, SD345)	kg	41.42
	足場工	m	3.15

横筋 1.00m×14本 = 14.00m
縦筋 (2.84+1.19+0.99)/0.40※ = 12.55m
Σ 26.55m
1.56 (kg/m)×26.55 (m)=41.42 (kg)
※0.40mは配筋ピッチ

▽H.H.W.L. +3.40m
▽H.W.L. +1.80m (陸上)
▽M.L.W.L. +0.45m (潮待ち)
▽L.W.L. ±0.00m

NO. 5' +9.922

GH=6.797
FH=



数量表 NO. 5' +9.922			
工種	名称	単位	数量
波返工	コンクリート	m2	2.61
	型枠	m	3.91
	合板円形型枠	m	0.97
	チップング	m	2.70
	差し筋	本	4
	鉄筋 (D16, SD345)	kg	41.70
	足場工	m	3.21

横筋 1.00m×14本 = 14.00m
縦筋 (2.91+1.19+0.99)/0.40※ = 12.72m
Σ 26.73m
1.56 (kg/m)×26.73 (m)=41.70 (kg)
※0.40mは配筋ピッチ

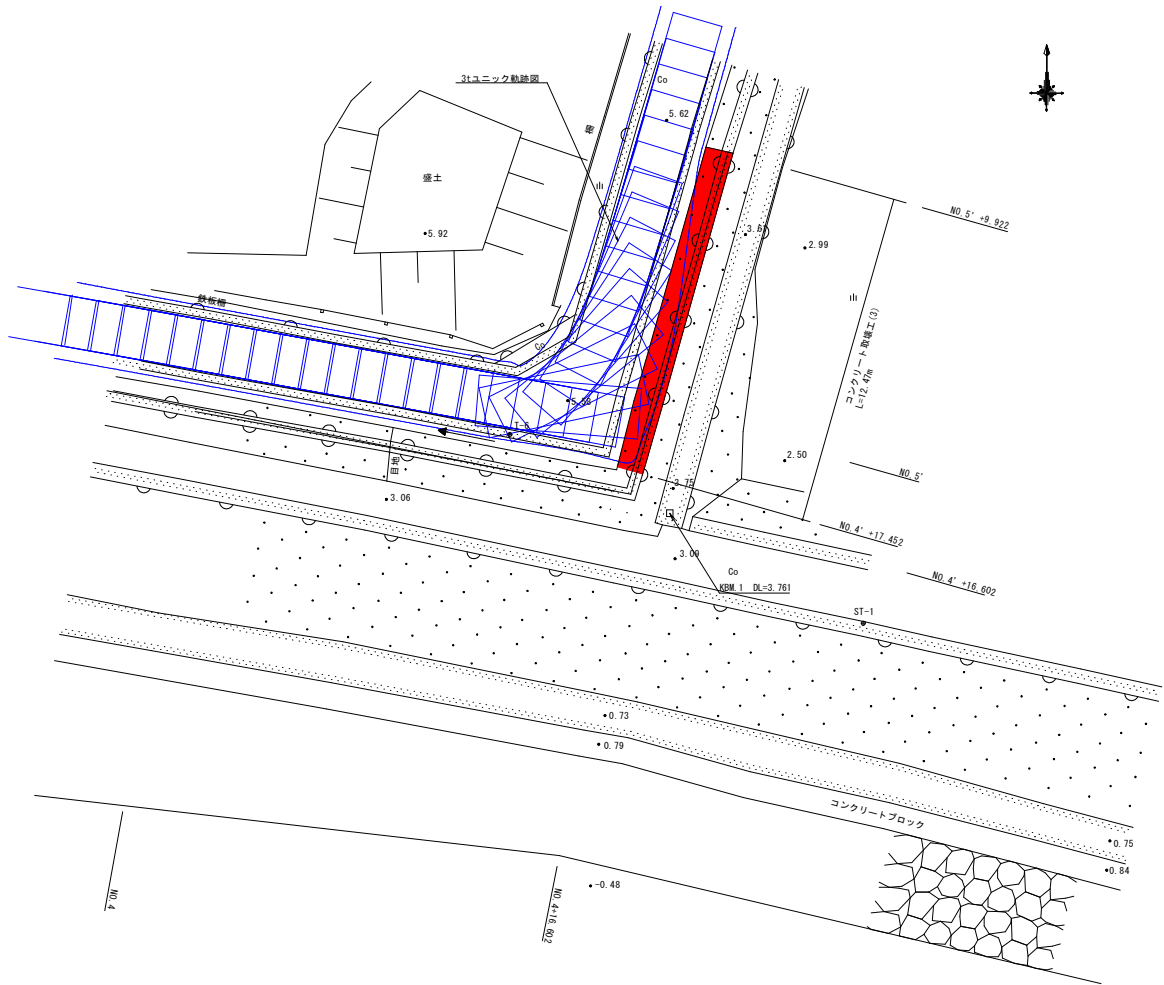
当初設計図面

工事名	R7 徳島 徳島小松島港海岸 (沖洲地区) 徳・南沖洲4 護岸修繕工事 (担い手確保型)		
路線名等	徳島小松島港海岸 (沖洲地区)		
工事箇所	徳島市南沖洲4丁目		
図面名	横断面図(2)		
縮尺	S=1:100	図面番号	6/11
会社名			
事業者名	徳島県東部東土整備局<徳島庁舎>		

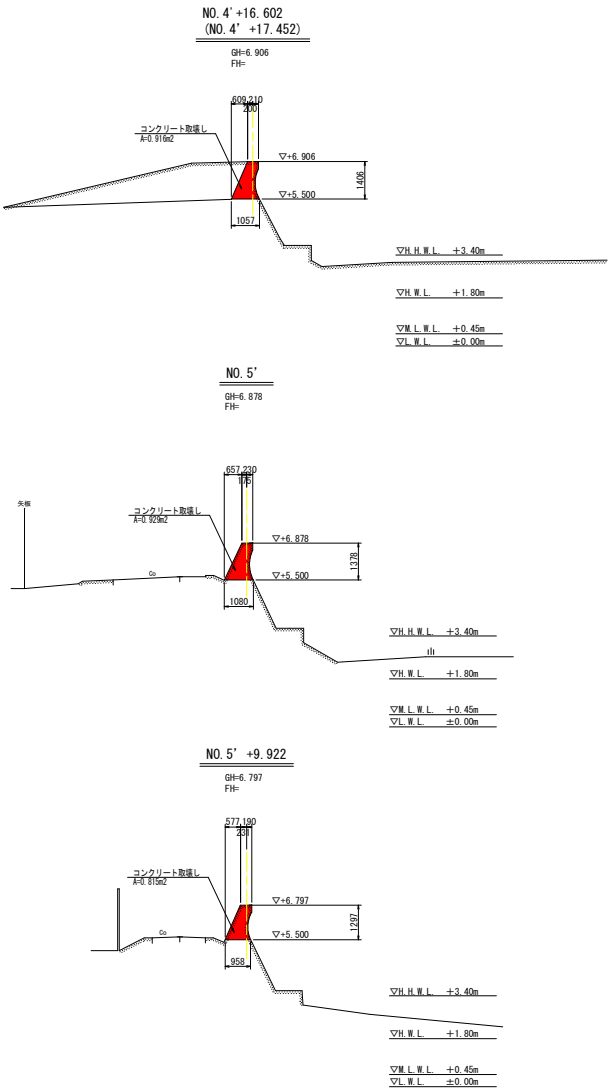
構造物撤去工詳細図 S=1:100

(注記) 本図に示す取壊し箇所は、施工時の吊り作業を想定し、
3tユニックの通行確保のために波返工の一部を撤去するものである。
実際の現場にて車輛が通行できる場合は、発注者との協議の上、
本図の撤去工を省略できるものとする。

平面図 S=1:100



コンクリート取壊工 S=1:100



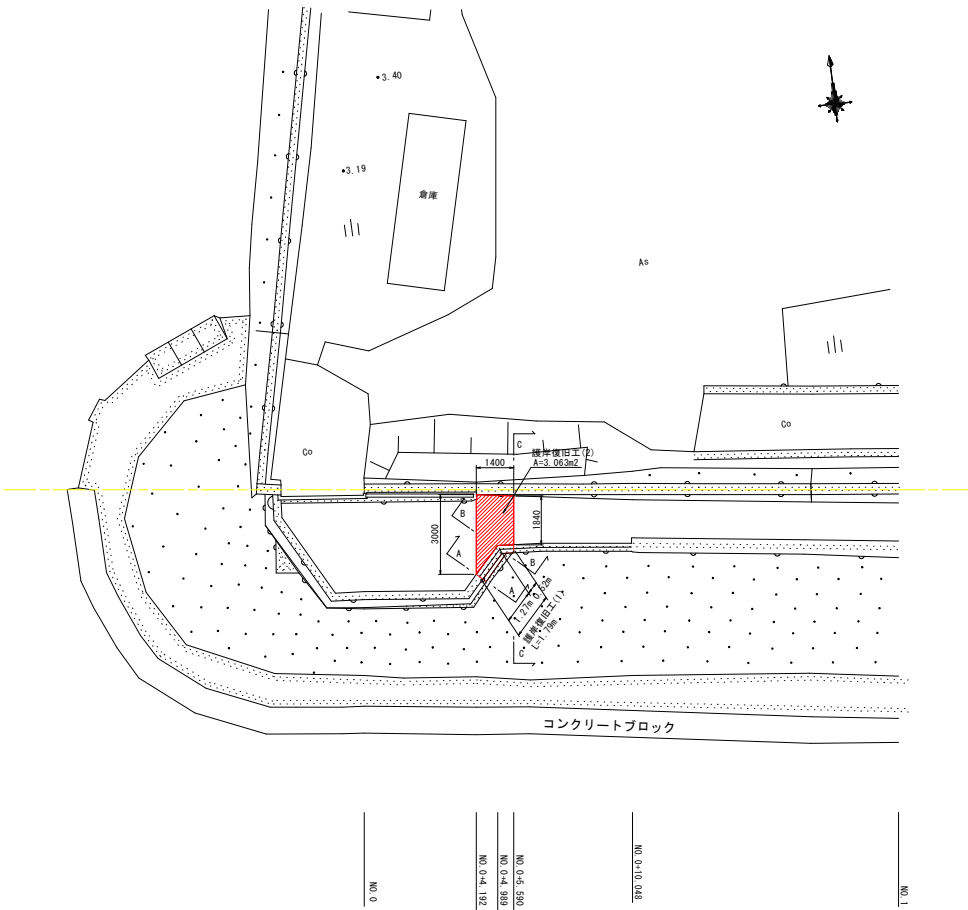
当初設計図面

工 事 名	R7 徳土 徳島小松島港海岸（沖洲地区） 徳・南沖洲4 護岸修繕工事（担い手確保型）		
路線名等	徳島小松島港海岸（沖洲地区）		
工事箇所	徳島市南沖洲4丁目		
図 面 名	構造物撤去工詳細図		
縮 尺	S=1:100	図面番号	7/11
会 社 名			
事業者名	徳島県東部県土整備局＜徳島庁舎＞		

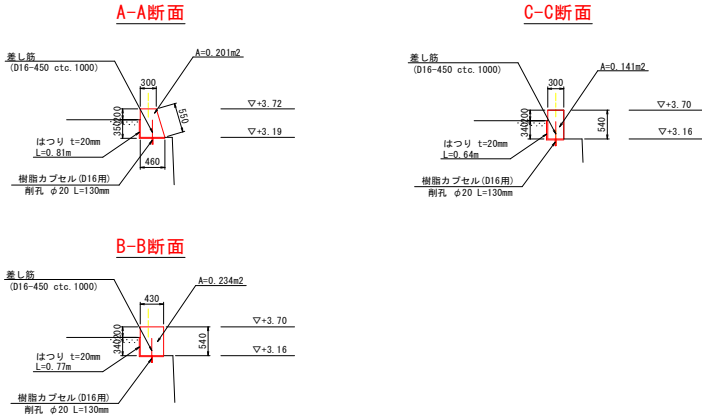
護岸復旧工詳細図

S=1:100

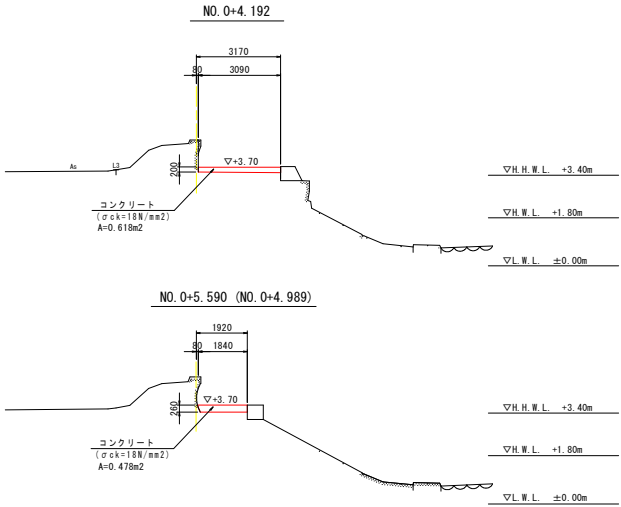
平面図 S=1:100



護岸復旧工(1) S=1:100



護岸復旧工(2) S=1:100



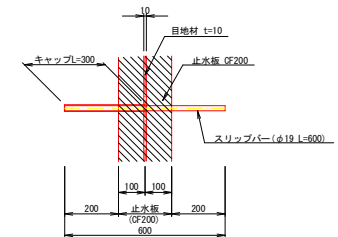
当初設計図面

工事名	R7 徳土 徳島小松島港海岸（沖洲地区） 徳・南沖洲4 護岸修繕工事（担い手型保型）		
路線名等	徳島小松島港海岸（沖洲地区）		
工事箇所	徳島市南沖洲4丁目		
図面名	護岸復旧工詳細図		
縮尺	S=1:100	図面番号	8/11
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局＜徳島庁舎＞		

表法被覆工目地詳細図
(参考図)

目地部詳細図

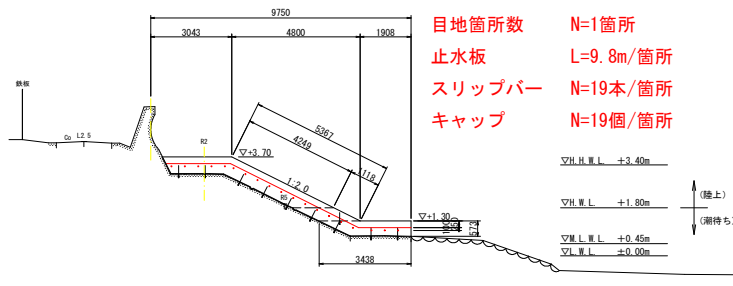
目地部壁正面図 1:10



NO. 2+7. 650

S=1:100

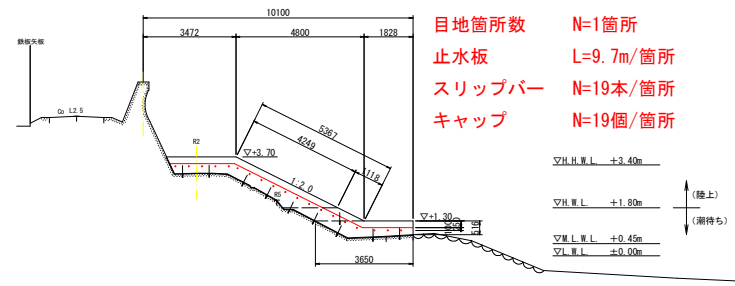
NO. 2
(NO. 1+18. 160)
GH=5. 583
FH=



NO. 3+16. 790

S=1:100

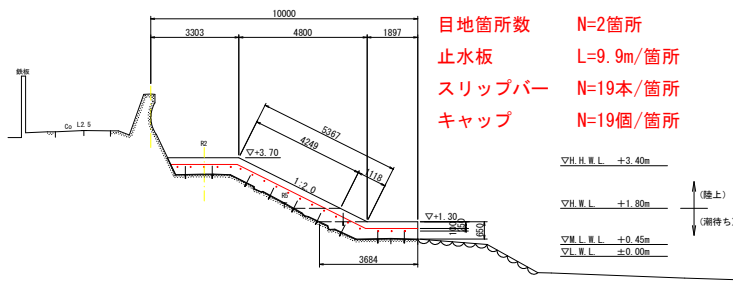
NO. 4
GH=6. 507
FH=



NO. 2+17. 710、NO. 3+7. 940

S=1:100

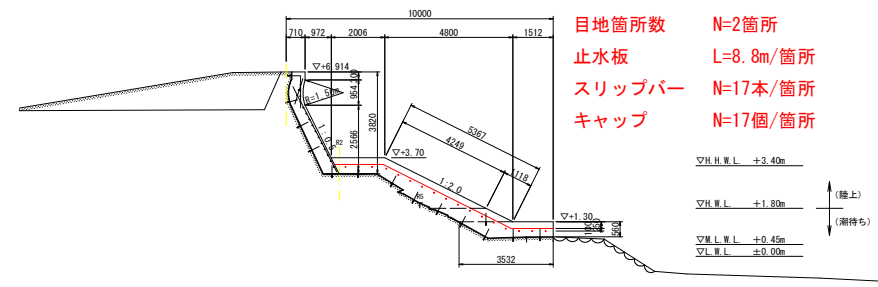
NO. 3
GH=6. 081
FH=



NO. 4+7. 440、NO. 4+18. 200

S=1:100

NO. 4+16. 602
(NO. 4+7. 435)
GH=6. 906
FH=



当初設計図面

工事名	R7徳土 徳島小松島港海岸（沖洲地区） 徳・南沖洲4 護岸修繕工事（担い手確保型）
路線名等	徳島小松島港海岸（沖洲地区）
工事箇所	徳島市南沖洲4丁目
図面名	表法被覆工目地詳細図（参考図）
縮尺	S=図示 図面番号 9/11
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局＜徳島庁舎＞

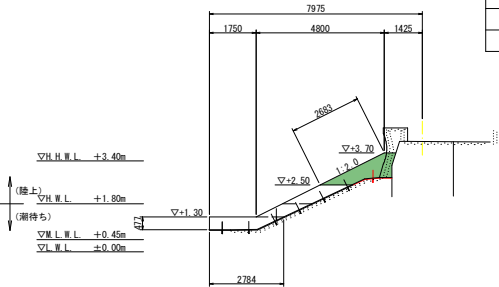
横断面図
(残工事)

S=1:100

(注1) 水中不分離性コンクリートの配合は、配合試験により定めるものとする。
・初期設定条件
水中期中強度比0.7以上
スランブロー50cm(水中不分離性コンクリート設計施工指針(案)、土木学会、「一般の場合」の値の中央値)
水セメント比の上限60%以下(水中不分離性コンクリート設計施工指針(案)、土木学会、「無筋」・「海中」の値)

(注2) 水中不分離性コンクリートの養生中はコンクリート表面をシート等で保護する。

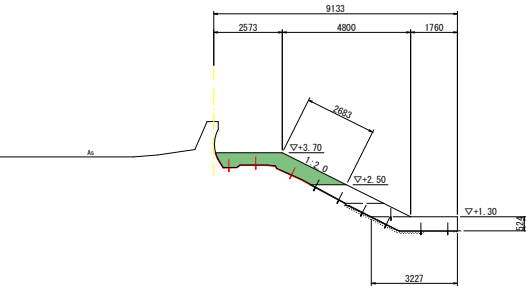
端部標準横断



工種	名称	単位	数量
表法被覆工	コンクリート (陸上)	m2	1.49
	コンクリート (潮待ち)	m2	
	水中不分離性コンクリート	m2	
	型枠 (陸上)	m	2.68
	型枠 (潮待ち)	m	
	テッピン工 (陸上)	m	1.55
	テッピン工 (潮待ち)	m	
	差し筋 (陸上)	本	1
	差し筋 (潮待ち)	本	

NO. 0+10.048

GH=4.870
FH=



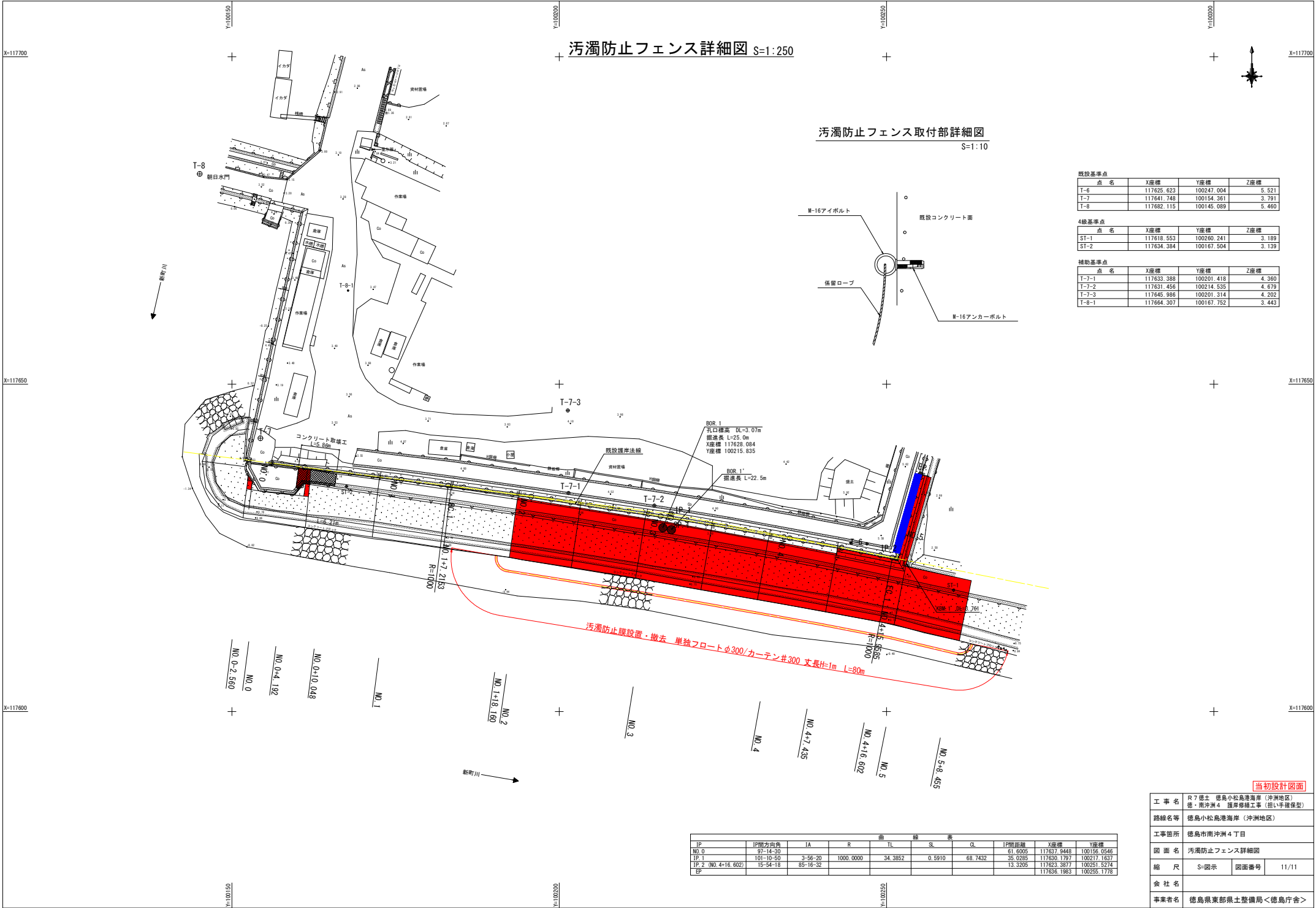
工種	名称	単位	数量
表法被覆工	コンクリート (陸上)	m2	2.36
	コンクリート (潮待ち)	m2	
	水中不分離性コンクリート	m2	
	型枠 (陸上)	m	2.68
	型枠 (潮待ち)	m	
	テッピン工 (陸上)	m	4.05
	テッピン工 (潮待ち)	m	
	差し筋 (陸上)	本	3
	差し筋 (潮待ち)	本	

▽H.H.W.L. +3.40m
▽H.W.L. +1.80m
▽M.L.W.L. +0.45m
▽L.W.L. ±0.00m

(陸上)
(潮待ち)

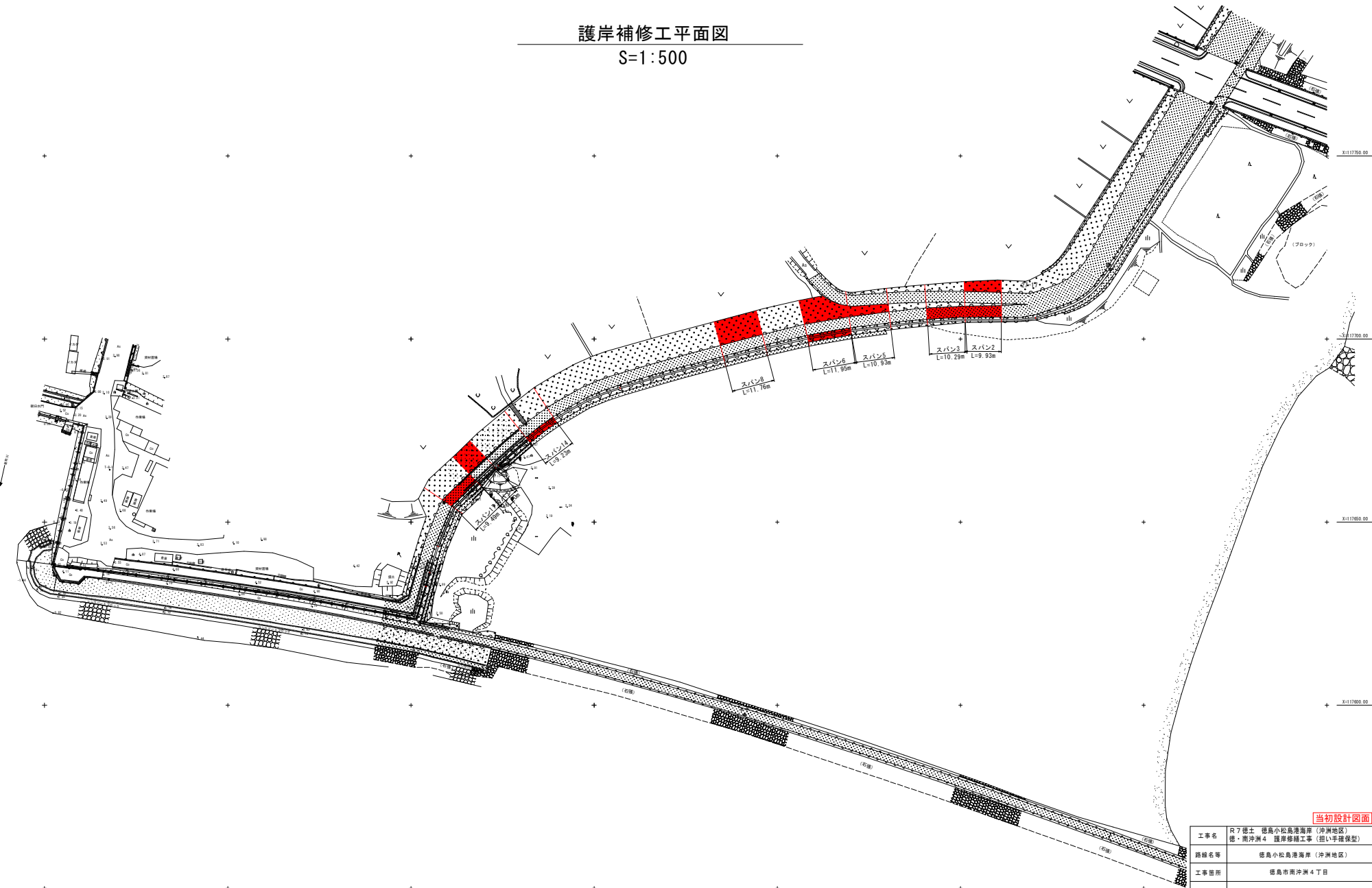
当初設計図面

工 事 名	R7 徳土 徳島小松島港海岸 (沖洲地区) 徳・南沖洲4 護岸修繕工事 (担い手確保型)		
路線名等	徳島小松島港海岸 (沖洲地区)		
工事箇所	徳島市南沖洲4丁目		
図 面 名	横断面図 (残工事)		
縮 尺	S=1:100	図面番号	10/11
会 社 名			
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島庁舎>		



護岸補修工平面図

S=1:500

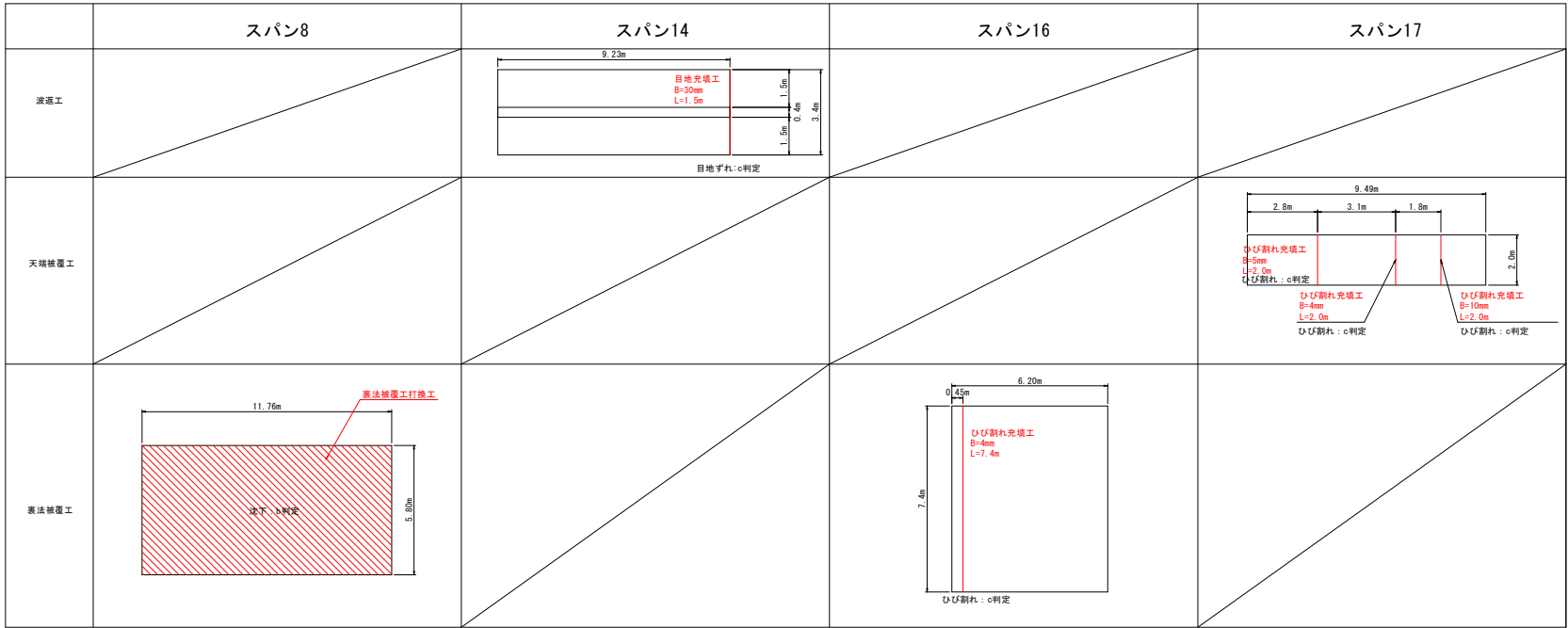
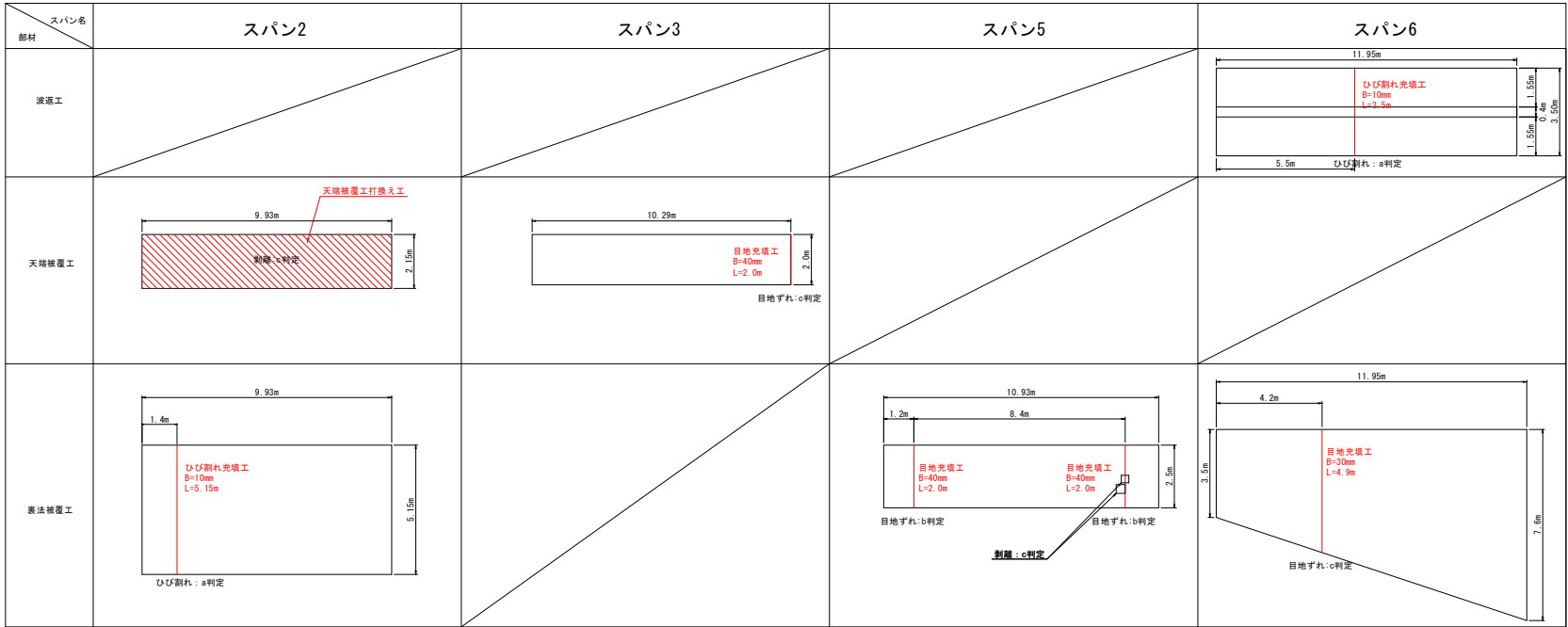


当初設計図面

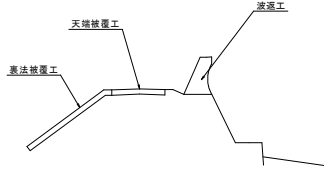
工事名	R7徳土 徳島小松島港海岸（沖洲地区） 徳・南沖洲4 護岸修繕工事（担い手確保型）		
路線名等	徳島小松島港海岸（沖洲地区）		
工事箇所	徳島市南沖洲4丁目		
図面名	護岸修繕工平面図		
縮尺	S=1:500	図面番号	1 / 2
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局＜徳島庁舎＞		

護岸補修工詳細図

S=1:100

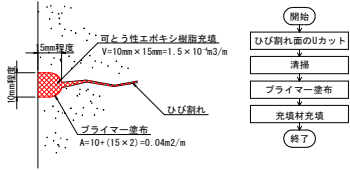


部材案内図



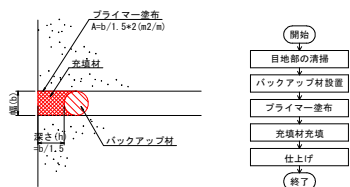
ひび割れ充填工詳細図

S=1/1



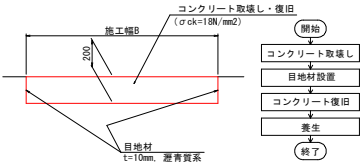
目地充填工詳細図

S=1/1



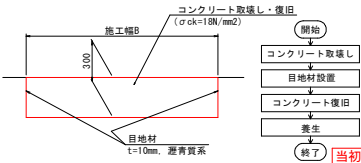
天端被覆打換工詳細図

S=1/20



裏法被覆打換工詳細図

S=1/20



(当初設計図面)

工事名	R7徳島 徳島小松島港海岸（沖洲地区） 徳・南沖洲4 護岸修繕工事（担い手確保型）		
路線名等	徳島小松島港海岸（沖洲地区）		
工事箇所	徳島市南沖洲4丁目		
図面名	護岸補修工詳細図		
縮尺	S=図示	図面番号	2 / 2
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局＜徳島庁舎＞		

階段工平面図 S=1:50

基準点			
点 名	X座標	Y座標	Z座標
T-4	117676.802	100281.374	5.829
T-5	117655.313	100259.029	5.761
ST-3	117664.635	100273.739	5.599

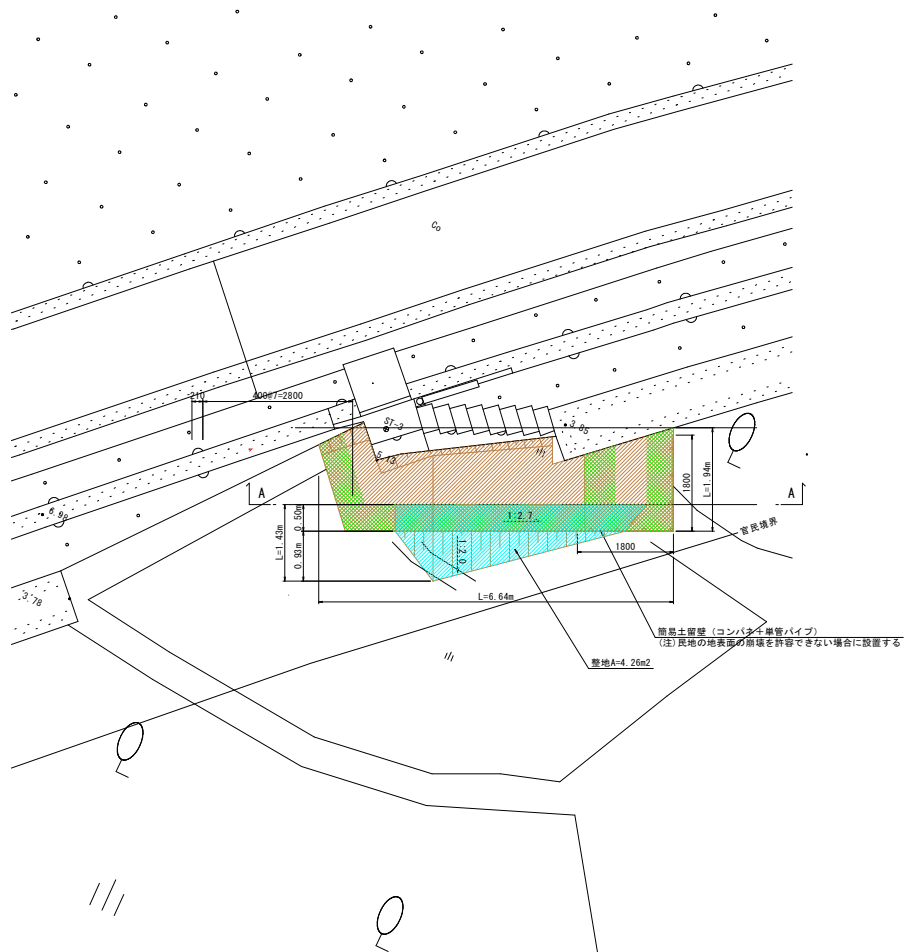
階段部 測点			
点 名	X座標	Y座標	Z座標
NO. A	117666.803	100271.963	5.859
NO. B	117670.548	100276.131	5.837
NO. C	117664.572	100273.969	5.603
NO. D	117660.586	100277.551	3.639

(注) 当該工事箇所は、護岸前面が民有地となっており、現場に搬入できる施工機械や移動式クレーンの種類に制限が生じる。現場条件に合わせて施工機械等を選定すること。

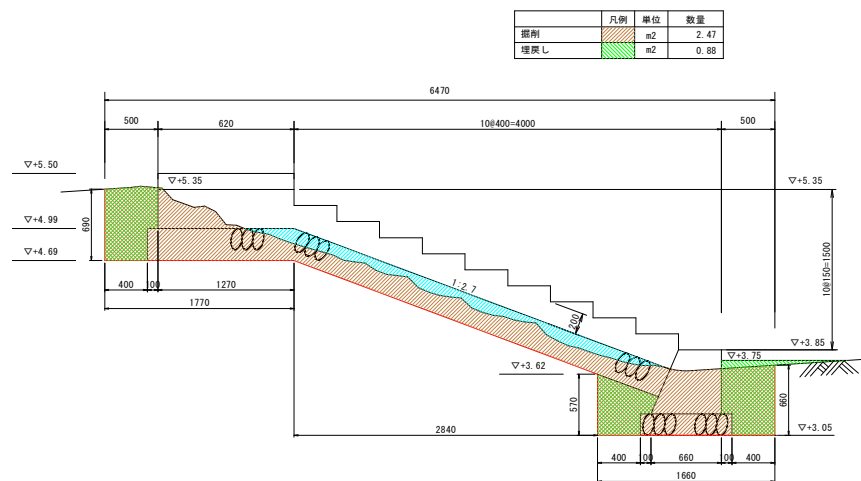
当初設計図面	
工事名	R7徳島 徳島小松島港海岸（沖洲地区） 徳・南沖洲4 護岸移設工事（担い手確保型）
路線名等	徳島小松島港海岸（沖洲地区）
工事箇所	徳島市南沖洲4丁目
図面名	階段工平面図
縮尺	S=1:50 図面番号 1 / 7
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局＜徳島庁舎＞

土工詳細図
S=図示

平面図 S=1:50



土工標準断面図(A-A断面)
S=1:25

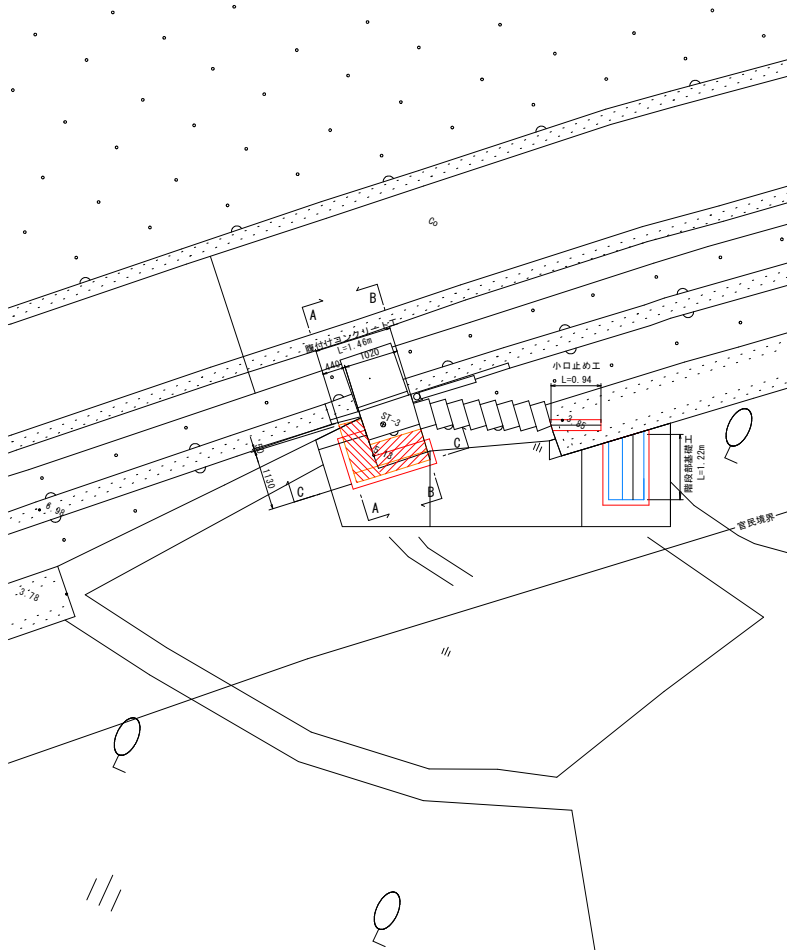


当初設計図面

工事名	R7徳島 徳島小松島港海岸（沖洲地区） 徳島市南沖洲4丁目 護岸修繕工事（担い手建設費）		
路線名等	徳島小松島港海岸（沖洲地区）		
工事箇所	徳島市南沖洲4丁目		
図面名	土工詳細図		
縮尺	S=1:100	図面番号	3 / 7
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局＜徳島庁舎＞		

S=図示

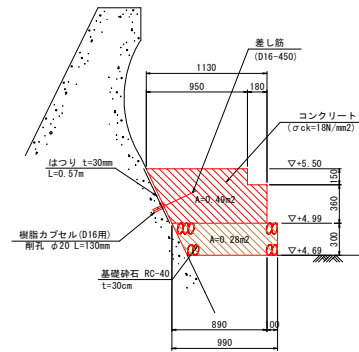
平面图 S=1:50



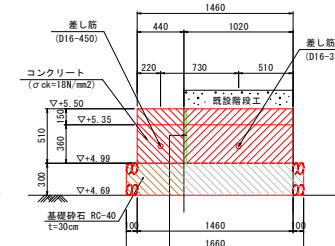
腹付けコンクリート構造図

S=1:25

A-A断面

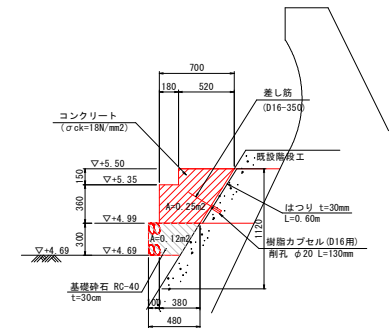


C-C断面



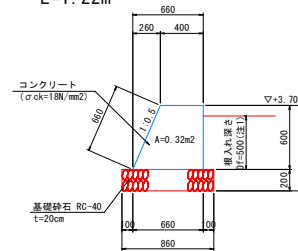
(注記)コンクリート部の着色は、
既設階段工に腹付けする箇所を水色
既設波返工に腹付けする箇所を赤色で示している。

B-B 断面



階段基礎工構造図

S=1:25

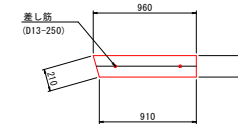
$$L=1.22\text{m}$$


(注記1) 現地地盤面まで埋め戻した際に擁壁の根入れが不足する場合は、発生土を用いて地盤面を嵩上げし、必要根入れを確保する。

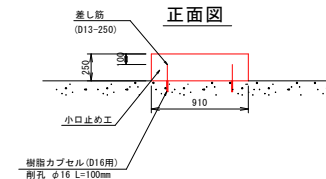
小口止め工構造図

S=1:25

平面图



正面図



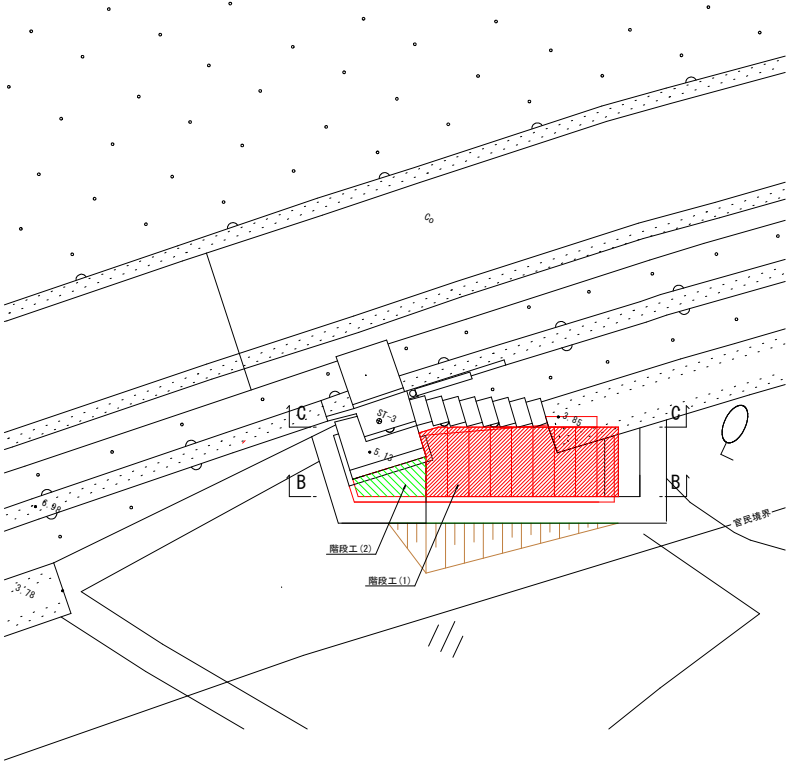
当初設計図面

工事名	R7 徳島 徳島小松島港海岸（沖洲地区） 徳・南沖洲4 護岸修繕工事（掘り手掘保岸）		
路線名等	徳島小松島港海岸（沖洲地区）		
工事箇所	徳島市南沖洲4 目		
図面名	階段工詳細図（1）		
縮尺	S=1:100	図面番号	4 / 7
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局＜徳島庁＞		

階段工詳細図(2)

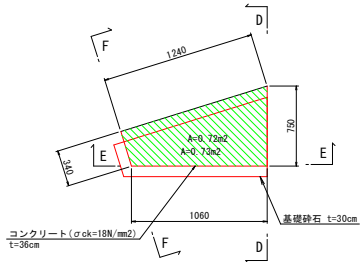
S=図示

平面図 S=1:50

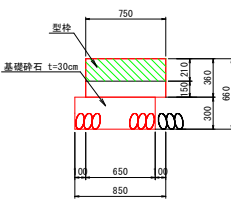


階段工(2)構造図

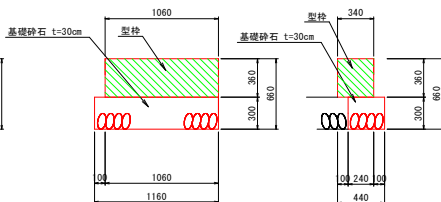
S=1:25



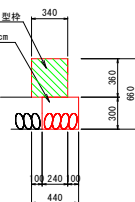
D-D 断面図



E-E 断面図



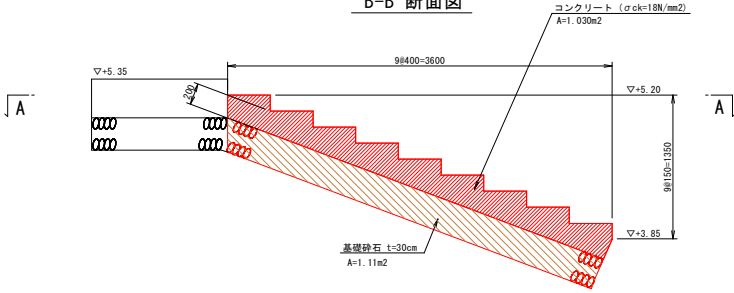
F-F 断面図



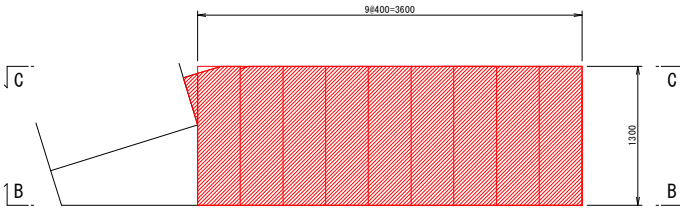
階段工(1)構造図

S=1:25

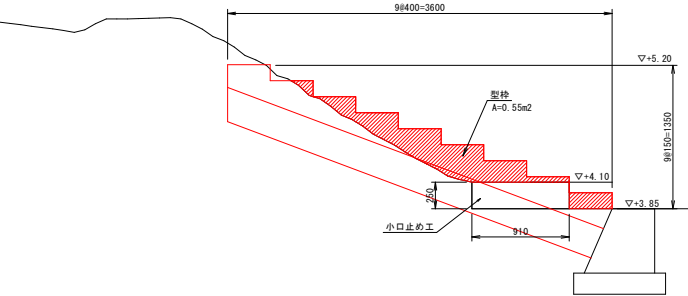
B-B 断面図



A-A 断面図



C-C 断面図



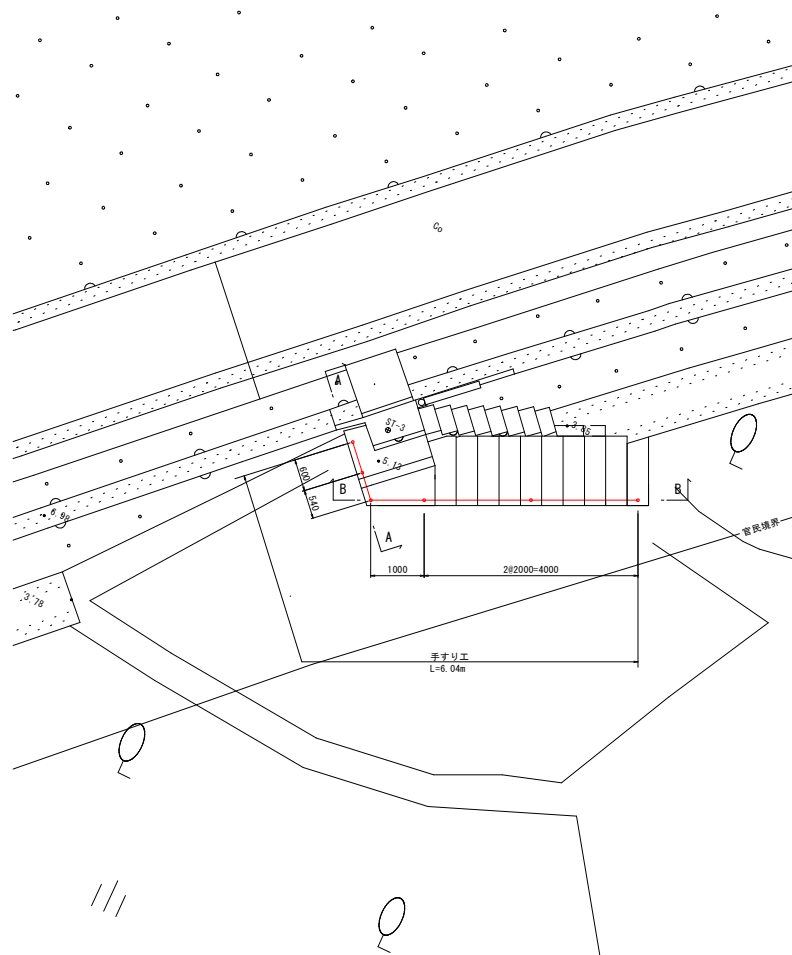
当初設計図面

工事名	R7 徳島 徳島小松島海岸 (沖洲地区)
路線名等	徳島小松島海岸 (沖洲地区)
工事箇所	徳島市南沖洲4丁目
図面名	階段工詳細図(2)
縮尺	S=1:100 図面番号 5 / 7
会社名	
事業者名	徳島県建設部 徳島県土木部

手すり割付図(参考図)

S=図示

平面図 S=1:50

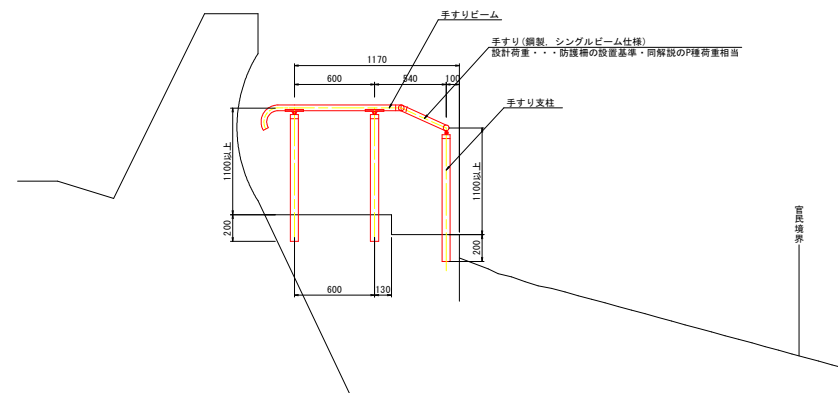


手すり構造図(参考図)

S=1:20

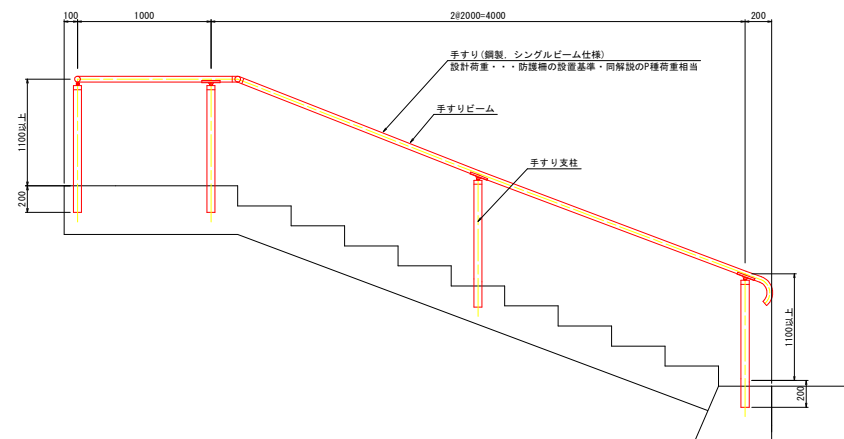
A-A 断面図

S=1:20



B-B 断面図

S=1:20



当初設計図面

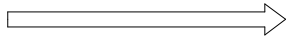
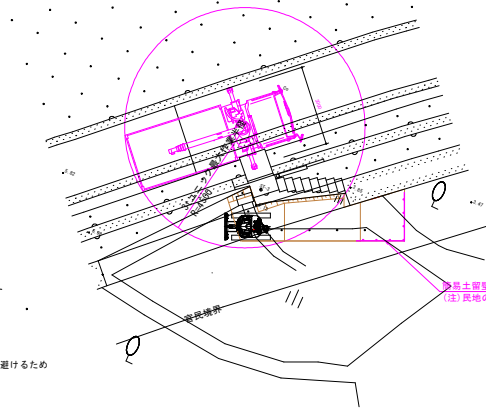
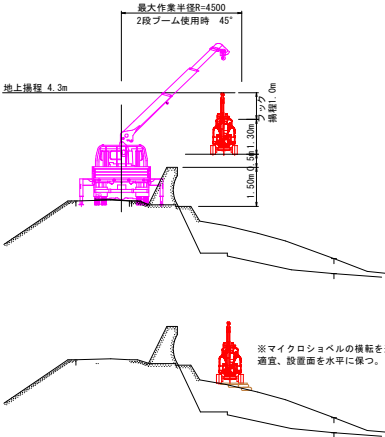
工事名	R7徳島 徳島小松島港海岸(沖洲地区) 徳・南沖洲4 護岸修繕工事(組型手摺壁型)		
路線名等	徳島小松島港海岸(沖洲地区)		
工事箇所	徳島市南沖洲4丁目		
図面名	手すり割付図(参考図)		
縮尺	S=1:100	図面番号	6 / 7
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島庁舎>		

施工要領図(参考図)

S=F. S.

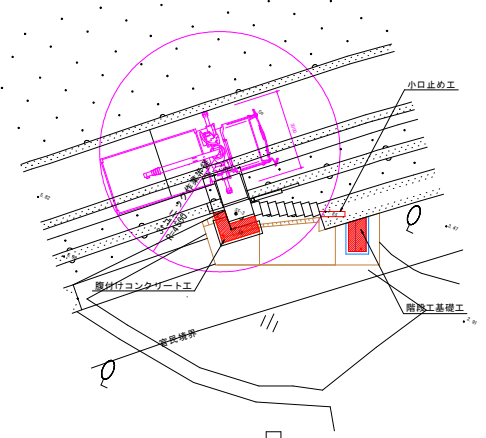
STEP1

- ・3tユニックを用いてマイクロショベルを吊り込み、施工ヤードに配置する。
- ・マイクロショベルにより掘削する。
- ・必要に応じて簡易土留めを設置する。



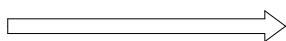
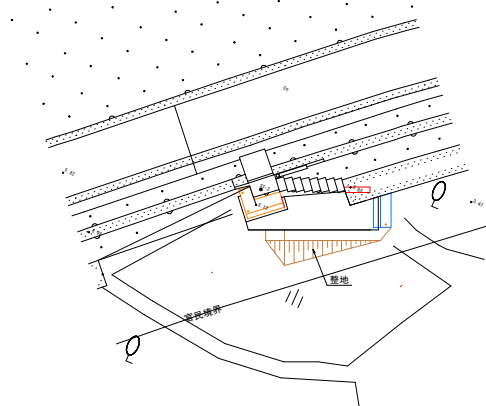
STEP2

- ・腹付けコンクリート及び階段工基礎工、小口止め工を打設する。
- このとき、手すり支柱を同時に設置する。
- (注)コンクリートは、コンクリートポンプ車を用いて施工箇所まで圧送する。



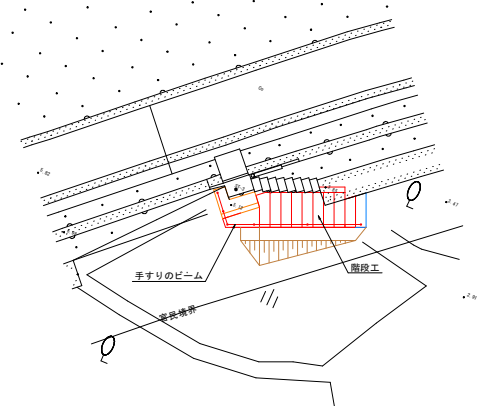
STEP3

- 掘削部を埋戻しながら階段工の基礎砕石を敷設する。
- 基礎砕石の原地盤高が計画地盤高に対して不足する場合、発生土等を薄層に敷均し、整地する。



STEP4

- 階段工施工範囲に基礎砕石を敷設し、階段工を打設する。
- このとき、手すり支柱を同時に設置する。
- その後、手すりのビームを取り付ける。



[当初設計図面]

工事名	R7徳島 徳島小松島港海岸（沖洲地区） 修・南沖洲4 護岸修繕工事（掘削手掘り型）		
路線名等	徳島小松島港海岸（沖洲地区）		
工事箇所	徳島市南沖洲4丁目		
図面名	施工要領図（参考図）		
縮尺	S=1:100	図面番号	7 / 7
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局＜徳島庁舎＞		